

しら がくしゅう 調べる学習のすすめかた

しら がくしゅう 調べる学習のステップ

- ① けいかく
計画をたてよう
- ② しら きろく
調べて記録しよう
- ③ さくひん
まとめて作品にしよう

©図書館振興財団



ステップ① 計画をたてよう

調べる方法を考える

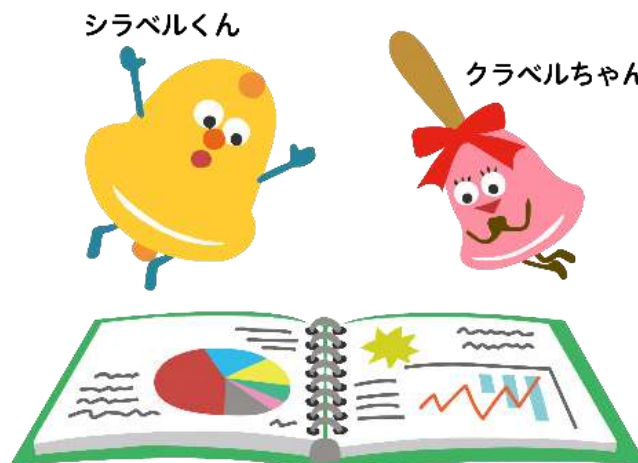


いつ、どうやって調べるか、方法を考えます。

いつ?	<ul style="list-style-type: none"> 調べる日 調べるのにかかる日数 まとめおわる日
どんな方法で?	<ul style="list-style-type: none"> 自分で考える（観察・実験など）…比べることが大切です。 失敗しても、どこが悪かったのかな？と 考えて、やり方を変えてみましょう。 本を探す インターネットで調べる…信用できる情報かどうか大人の人に 確かめてもらいましょう。 人に聞く…聞きに行く前に、聞きたいことをまとめておきましょう。 博物館や、科学館に行く 写真をとる…写真をとる前に、写真をとらせてもらう人にとってよいかどうかを 聞きましょう。 作る（工作・料理など） <p style="text-align: right;">・・・など</p>

☆ ひとつの方法でわかったことを別の方法で確かめてみましょう。
（わかったことがより正しいかどうかを確かめることが大切です。）

☆ 本で調べるときは、2冊以上集めて比べてみましょう。



©図書館振興財団

ステップ② しら きろく 調べて記録しよう

(1) としよかん ほん さが かた 図書館の本の探し方

・「ほん あんないず み ほん さが 本だな案内図」を見て本だなで探す

・インターネットのとしよかん さが 図書館ホームページで探す

- ① こどもページの「キーワード」や「けんめい しら 件名」に調べたいことを入力して探すことができます。
 - ・ちよきんばこ つく かた ほん さが 貯金箱の作り方の本を探すときは、「ちよきんばこ」と入力します。
 (ちよきんばこ「ちよきんばこ」にゅうりよく「ちよきんばこ」と入力しても探すことができます)
- ② ほん ひょうじ 本のいちらんが表示されたら、「ひょうじ ひょうじじゅん」を「しゅっぱんねんじゅん」「こうじゅん」に並びかえると、あた ほん み 新しい本から見るすることができます。
- ③ ほん ほん せ さがしたい本をクリックして、本の「たいとる タイトル」、「ばしよ (背ラベル)」をメモしましょう。
 「としよばんごう」をメモしておく、としよかん ひと き 図書館の人に聞くときに役に立ちます。

・としよかん ほん なら かた し 図書館の本の並び方を知る

せ ほん じゅうしよ 背ラベルは、本がどこにあるかの住所のようなものです。たくさんの本を内容の似ている本で
な か ま わ な か ま 仲間をつくり、いくつかに分けています。「にほんじっしんぶんるいほう 日本十進分類法」を使ってなかま分けをしています。

※どうやってなかま分けしているのかは、「にほんじっしんぶんるいほう 日本十進分類法の見方」というプリントを
み 見てください。

・としよかん ひと き 図書館の人に聞く

きろく れい 「記録カード」の例

(2) しら きろく 調べたことを記録する



<small>しら</small> <small>き</small> <small>ろく</small> 調べたいこと	
<small>わか</small> <small>った</small> <small>こ</small> <small>と</small> わかったこと	
<small>つか</small> <small>った</small> <small>し</small> <small>り</small> <small>よう</small> <small>ざ</small> <small>ん</small> <small>料</small> 使った資料	タイトル： ページ：

「きろく カード」をつか っ て み よ う ！

- ・あとで自分が見て、分かるように書きます。
- ・絵にかくとわかりやすいです。
- ・こまったことやわからないことは、おとな ひと そうだん 大人の人に相談しましょう。
- ・いえ そと かんさつ 家の外で観察するときは、なんがつなんにち じかん ばしよ てんき 何月何日・時間・場所・天気などを記録します。
- ・しゃしん しゃしん まえ ひと 写真をとっておくのもいいです。写真をとる前に、とらせてもらう人にとっていいかどうかを聞きましょう。

ステップ③ まとめて作品さくひんにしよう

(1) まとめかたをかんが考える



なに 何にまとめるか

- ・レポート用紙ようし
- ・模造紙もぞうし
- ・新聞・ポスターしんぶん など

写真しゃしんをはったり、絵え、図ず、表ひょうをかくこともいいですね。

文ぶんにすると長ながくなったり、わかりにくくなったりするときに使つかいましょう。

まとめかたの例れい

- ① 「記録カードきろく」をならべて、調べてきた順番しら じゅんばんにまとめます。
お友だちともに教おしえてあげる気持きもちで書かいてみましょう。
- ② 「記録カードきろく」を共通きょうつうする内ないようでグループぐるーぷを作り、いくつかいくつかに分わけます。
グループぐるーぷになったものにタイトルなまえ（名前なまえ）をつけて、まとめる順番しゅんばんを考かんがえましょう。
- ③ 教科書きょうかしょの書かき方かたもヒントになりますよ。

まとめるときの注意ちゅうい点

- ・本ほんの中なかの文ぶんや言葉ことばをそのまま使つかうときは、言葉ことばをかえずにそのまま書かいて「
」を
つけましょう。書かいた人ひとの文ぶんをそのまま写うつして、自分じぶんが考かんがえたように書かいてはいけません。
- ・「
」をつけた文ぶんは、どの本ほんから書かいたのか本ほんの名前なまえ、ページなどを必かならず書かきましょう。



なに か
何を書いてまとめるか（はじめ・なか・おわり・かんせい）

はじめ	<p>①なぜそのことを調べようと思ったのか</p> <p>②調べるまえに考えたこと（予想したこと）</p> <p>③どんな方法で調べたのか</p>
なか	<p>④調べて分かったこと</p>
おわり	<p>⑤調べて考えたこと・思ったこと（予想とのちがいなど）</p> <p>⑥調べたあとの感想</p>
かんせい	<p>⑦調べるときに使った本などを書く（「参考文献」といいます）</p> <p>⑧タイトルを作る。</p> <p>⑨目次を作る。（どのページになにが書いてあるのかが分かりやすくなります）</p> <p>⑩表紙にタイトル、自分の名前、学年を書く。</p>

保護者の方へ

- ※ 調べるときに使った本など（参考文献）の書き方は、公益財団法人図書館振興財団のホームページ <https://concour.s.toshokan.or.jp/>の「参考文献リストの書き方」を御覧ください。
「参考引用文献リスト用紙」をダウンロードすることができます。